

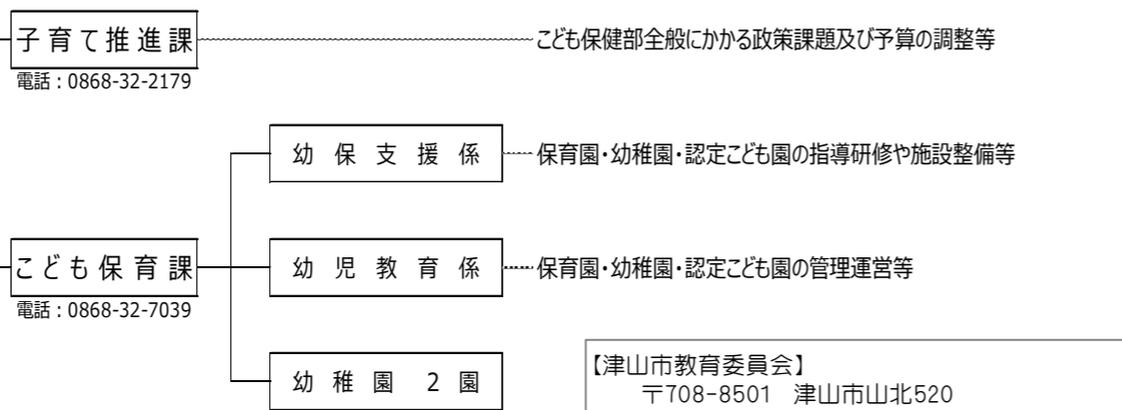
# 組織体制

## 教育委員会



教育長  
教育次長

## こども保健部 (市長部局)



【津山市教育委員会】  
〒708-8501 津山市山北520  
電話: 0868-32-2112 (教育総務課)  
Eメール: kyouiku@city.tsuyama.lg.jp

# 令和3年度 津山市の教育 (教育要覧)

## 1. 津山市の概要

津山市は、岡山県の北東部に位置し、北は鳥取県、南は吉備高原に接する人口99,315人、世帯数45,589世帯(住民基本台帳、令和3年4月1日現在)の都市で、岡山県北の中心都市となっています。

本市は、和銅6年(713)に備前国の北部6郡を割いて美作国が設置されたことに始まり、古代から近世まで一貫して美作国の政治・経済・文化の中心を担っていた地域です。慶長8年(1603年)、本能寺の変で織田信長とともに戦死した森蘭丸の弟森忠政が、美作国18万6千5百石の領地を与えられ、吉井川と宮川の合流点を見下ろす鶴山を城地に選定し、「鶴山(つるやま)」を「津山(つやま)」と改め築城に着手し、現在の町並みの基礎が築かれました。

教育面では、幕末から学問の奨励が行われてきたことにより、我が国の近代化に貢献した質作阮甫をはじめとした、多くの人材を輩出しました。現在、大学・短期大学・高等専門学校が各1校、高等学校は6校あり、教育文化都市としての歩みを進めています。



## 2. 市内学校(園)の状況 R3.5.1現在

※( )は、うち特別支援学級

学校	学校数	学級数	児童生徒数	教職員数
小学校	27	283 (63)	5,127 (302)	456
中学校	8	106 (26)	2,639 (126)	221

※中学校については、上記のほか県立中学校が1校ある。

	保育園(所)数	園児数	幼稚園数	園児数	認定こども園数	園児数
公立	2	200	2	158	2	315
私立	21	2,246	2	183	3	407

## 3. 第5次総合計画(平成28年度~令和7年度)

市民一人ひとりが、可能性を求め挑戦でき、10年先には希望に満ちた彩りあふれる花を咲かせるために、愛着と誇りを感じ、住み続けたいと思える津山のまちを創造することを基本理念としています。

総合計画では、こうした理念のもとに、5つの大綱を定めており、教育施策については、右のような体系に分類しています。

● **基本理念(めざすまちの姿)**  
彩りあふれる花開く 津山の創造  
～市民一人ひとりの想いがかなう 夢と希望の花が咲き誇るまち～

【まちづくりの大綱①】子育て環境の充実と人と文化を育むまちづくり

- ◇ **子どもが健やかに育つために**
  - 幼児教育・保育の充実
- ◇ **次世代を担う子どもために**
  - 義務教育の充実
  - 教育環境の充実
  - 家庭・地域の教育力の充実
  - 青少年の健全育成



# 津山市教育振興基本計画（第2期）平成29年度～令和3年度

**教育基本理念 「つなぐ力」を育む** ～あなたとわたし、学校・家庭・地域、そして世代を超えて～

## （1）個の確立とつなぐ力を育む【幼児・学校教育】

- ① 幼児教育の充実・・・幼児教育の質の向上と環境整備
- ② 義務教育の充実・・・確かな学力の向上、豊かな心の育成、健やかな体の育成、特別支援教育の充実、開かれた学校づくり
- ③ 教育環境の充実・・・安全・安心の学校づくり、安全・安心に配慮した学校給食の充実、良好な教育環境の維持・向上

## （2）身近な人々のつなぐ力を育む【家庭・地域教育】

- ① 青少年の健全育成の推進・・・青少年健全育成の総合的な推進、相談・支援体制の整備と社会参加の促進
- ② 家庭・地域の教育力の充実・・・学校・家庭・地域が連携した教育の推進、家庭教育の支援、地域資源を活用した学習の推進

津山市教育委員会では、平成29年2月に、平成29年度から令和3年度までの5年間を計画期間とする「津山市教育振興基本計画（第2期）」を策定しました。

本計画は、本市の目指す人づくりや教育基本目標を継承しつつ、継続する課題や今後の教育環境の変化等による課題に対応するための施策の方向性や主な取組を示しており、今年度が最終年度となります。

本年度から、児童生徒が1人1台端末を文房具の一つとして、当たり前前活し、問題や課題を発見し解決する力や情報を選択する力など、これからの社会に求められる資質・能力の育成を目指します。

本市では、このような資質・能力を、学校・家庭・地域がしっかりと連携協力する中で育成し、地域に愛着と誇りを抱き、夢や希望を描いて、何事にも前向きに取り組む子どもたちを育てていきます。



夢や希望を叶える力を育む

津山市の目指す教育（使命・目的）

- ◆ 自らの将来（進路）を自らの力で切り開く人材の育成
- ◆ ふるさと津山に愛着と誇りを持ち、将来地域や社会に貢献できる人材の育成

- ◆ 目標を持つ・持たせる  
⇒ 様々な経験・体験をさせる
- ◆ 津山を知る・知らせる  
⇒ 学ぶ機会や場を提供する



## 【津山市の教育】令和3年度教育重点施策

令和3年度重点施策（使命達成への方針）

- ◆ 落ち着いた学習環境づくり（学習規律、靴揃え、チャイム着席等の徹底）
- ◆ 授業改善（わかる授業づくりへの教員の指導力向上、ICTを活用した授業づくり等）
- ◆ 生活・学習習慣の改善（スマホ・ゲーム等の適正利用、「学びのサイクル」の徹底）
- ◆ 社会性・自己肯定感の醸成（「つやま元気大賞」の充実）
- ◆ 就学前教育と義務教育の円滑な接続（「保幼小接続カリキュラム」の強化）
- ◆ ICT導入による個別最適化教育の推進（児童生徒用端末等を活用した授業展開）

学校教育力の向上

## 津山市「元気スマイルプラン」の実践

教育指導の充実、教員の業務負担の軽減等、使命達成に向けた5つの重点取組を行います。

### 【学校教育体制の整備】

- ① 小学校低学年充実プラン（支援員の配置）  
生活・学習規律の定着、基礎学力の習得を図る。
- ② 小学校教科充実プラン（教科担任制の導入）  
原則、全小学校高学年に教科担任制を導入する。

### 【教員の負担軽減】

- ③ 中学校部活動適正化プラン（朝練習の廃止）  
朝練習を廃止し、効果的効率的な部活動を推進する。

### ④ 教職員リフレッシュプラン（業務効率化）

新たに配置する学校運営改善アドバイザーの指導助言により、教職員の意識改革や業務の見直しを図る。

### 【地域との連携】

### ⑤ 地域協働推進プラン（地域学校協働活動）

教育課程に、ボランティア活動を位置づけ地域に誇りと愛着を持ち、社会に貢献する人材を育成する。

主な取組み

### 教育環境の整備

- ◆ 新型コロナウイルス感染症対策（5つの「津山っ子新しい生活様式」の徹底）
- ◆ 学校ICT環境の活用促進と先導的取組の研究・実践
- ◆ ICT支援員による授業支援
- ◆ 学校施設整備の安全安心対策
- ◆ 安心・安全に配慮した学校給食
- ◆ 教師業務・管理職アシスタント員の配置
- ◆ アドバイザーによる学校支援（3名）  
学校経営、教育相談  
学校運営改善



### 教育活動の充実

- ◆ 「学びのサイクル」の具体化と徹底、確認
- ◆ キャリア教育の推進（キャリアパスポートの作成と活用）
- ◆ 英語力の向上（小学校英語支援員の配置）
- ◆ 研究指定校での実証研究（東京学芸大学、NTT西日本等との共同研究など）
- ◆ 教育保育機関との連携（保幼小接続カリキュラム）
- ◆ 若手教員の指導力向上
- ◆ 不登校対策（登校支援員の配置）
- ◆ 地場産品等を活用した食育の推進



### 地域・PTA活動の支援

- ◆ 連合PTA・各単PTAの主体的活動
- ◆ 地域学校協働活動の推進  
・学校支援ボランティア  
・地域伝統継承活動 など
- ◆ コミュニティスクールの設立と全市展開への準備、研究
- ◆ 市健全育成関係団体等の活動（登下校見守りなど）
- ◆ 公民館等での子ども育成事業等の展開

